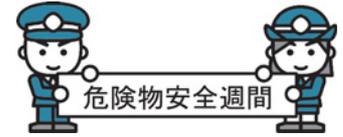
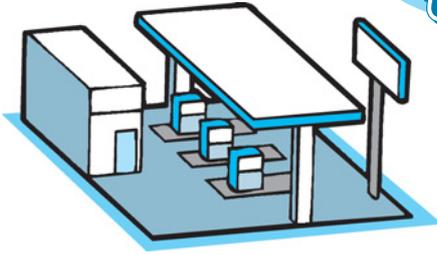




セルフスタンドを安全に利用しよう



6月7日(日)から6月13日(土)まで、全国一斉に「危険物安全週間」が実施されます。

これは、主に危険物を取り扱う事業所において、危険物に対する意識の高揚を図り、事故を防止するために実施されます。

しかし、一般の皆さんも多量の危険物に接する場所がありますよね。そうです、セルフスタンドです。

今回は危険物安全週間にちなんで、セルフスタンドでの安全対策をお知らせします。

- 1 火気厳禁・・・給油の際、給油口からガソリン蒸気が噴き出すことがあります。ライターの使用や、喫煙は絶対に厳禁です。
- 2 静電気除去・・・給油キャップを開ける前に、給油設備に設けられている静電気除去設備に触れて静電気を除去してください。
- 3 種類の確認・・・給油する車の燃料を確認してください。社用車やレンタカーなど、普段使用しない車両に給油するときは特に注意が必要です。また、「軽自動車だから軽油が燃料だ」と思いこみ、ガソリン車に軽油を給油したという事例もありますので、注意してください。
- 4 正しい給油・・・給油ノズルを奥まで差し込み、正しい方法で給油をし、カチッと停止したら満タンです。燃料があふれる恐れがありますのでそれ以上給油をしないでください。
- 5 詰め替え厳禁・・・顧客自らガソリンや軽油を携行缶などに詰め替えることは認められていません。

以上の安全対策を守り、セルフスタンドを正しく利用し、快適なカーライフをお送りください。

● 女性消防団の「ちょっといい話」 ● <第34回>

「雨のことば」

A： なんか最近異常な雨が多いねえ。去年は東海・関東地方を襲った「平成20年8月末豪雨」を代表とする局地的豪雨とかあったし、逆に夏過ぎからの渇水とか。

そろそろ今年も梅雨入りの季節やけど、今年の雨はどうなんやろ。

B： カラ梅雨でも、長雨でも困るねえ。ほやけど、「恵みの雨」というように、雨が降らんことには作物が育たんよね。古来、日本人は雨と上手に付き合ってきたんよ。その証拠に雨に関する言葉もたくさんあるよね。「若葉雨」「時雨」「氷雨」「小糠雨」「村雨」「篠突く雨」「狐の嫁入り」「滋雨」などなど。他にもたくさんあるけど、ほんと、日本語って豊かなん

よね。声にだして読んでみるとその情景が浮かんでくるんよ。「霪雨」「洪霖」なんて、長雨に苦しんでる様子やけど、現代には無い風情を感じるのよ。



A： ほほ～。情景が浮かぶねえ。でも、だんだんこういう言葉で表わされる情景が少なくなっているのが現実よね。

B： うんうん。そして毎日忙しくて、雨の様子を味わうゆとりもないね。ほやけん最近、風情のない雨がよく降るんかもね。

A： 昔の日本人は、雨の様子をよく観察して、雨と上手に付き合いよったんやね。